

## 法政大学能楽セミナー

近年、アニメと古典芸能とのコラボレーションが盛んに行われています。能楽の世界でも、能狂言「鬼滅の刃」、VR 能「攻殻機動隊」が上演されて大きな人気を集めたほか、室町時代の能役者犬王を主人公とするアニメ映画が公開されて話題を呼びました。アニメと能楽のコラボレーションは実際どのように行われているのでしょうか。そこにはどんな可能性が広がっているのでしょうか。比較文化を専門とする気鋭の研究者や、幅広い分野で活躍されている能楽師を交え、アニメと能楽との関わりを様々な角度から検証してみたいと思います。



# アニメと能楽

2024 3/3 SUN

pm 1:00 ~ 4:30 (開場 12:30)

法政大学市ヶ谷キャンパス  
ボアソナード・タワー26階スカイホール  
(JR総武線・東京メトロ市ヶ谷駅又は飯田橋駅下車ともに徒歩10分程度)

入場無料

申し込み不要。直接お越しください。定員100名

植 朗子 (神戸大学国際文化学術研究推進センター学術研究員)  
人の世で「鬼」の姿を目撃すること  
—能狂言『鬼滅の刃』の世界

宮本 圭造 (法政大学能楽研究所教授)  
アニメ映画「犬王」は能楽をどう描いたか

山中 玲子 (法政大学能楽研究所教授)  
『攻殻機動隊』が「夢幻能」的に見える理由

川口 晃平 (シテ方観世流能楽師)  
スピンオフとしての能

ラウンドテーブル  
司会: 横山 太郎 (立教大学現代心理学部教授)

